



塚本議員 萩原議員 大塚代表 伊東議員 辰巳議員 大澤議員

## 力強く市政を進めてゆく

新たな任期をこの六人で、力を合わせて活動いたします。老壮青、女性二人の会派で、皆様の様々な声をお聴きして、議会と市政に反映させていきます。八千代市の課題は多く、限られた予算の中で優先順位をつけながら、スピード感を持って、行政のチェック機関として、働いて参ります。皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## (仮称)「八千代市児童発達支援センター・すてっぴ21 大和田複合施設」の建設工事について

八千代市児童発達支援センター及びすてっぴ21大和田は共に、建築から50年以上が経過し、施設の老朽化と利用者の増加による狭隘化が進んでいる施設です。

このため、複合施設として、東京女子医科大学八千代医療センター近隣に建設工事を行っています。

利用者の方々が安全安心に施設を利用して頂くための工夫と、近隣住民の方々からのご意見等を一部反映させた施設として、現在建設工事は順調に進んでおり、令和5年秋の工事竣工後、移転の

準備を進め、令和5年度中の開所を目指しています。

施設の設置目的である療育支援だけでなく、有事の際に福祉避難所として使用するなど、新施設が最大限に活用されるよう会派としても働きかけて参ります。

[完成予想図]



## 新川周辺の一体的な利活用を推進

八千代市では、新川を含む印旛沼流域の一体的な利活用を推進するため、千葉県及び流域の5市町(成田市・佐倉市・印西市・酒々井町・栄町)と連携し、「印旛沼流域かわまちづくり計画」に基づき、ハード整備及びソフト施策に取り組んでいます。

ハード整備では、八千代橋周辺に今年度中の水辺拠点整備を進めるとともに、道の駅やちよにおいて、平時には更なる賑わいづくりの拠点、災害時には県の広域防災拠点としての活用を見据えた整備に取り組んでいるとこ



ろです。

また、ソフト施策の一環として、3月に「新川観光船実証実験」が行われ、会派のメンバーで乗船体験に参加しました。

## 広域公園概要及び現在の進捗状況

県立八千代広域公園は、本市の中央部を南北に流れる新川沿いの河川空間を活用して『水辺とスポーツ・情報文化とのふれあい』をテーマとして計画された都市公園であり、



計画面積は約53.4haです。

整備状況は、平成7年度から村上側の整備に着手し、令和2年4月に11.3haを供用開始しました。萱田側では、残る用地取得に取り組むとともに、南側の約4.3haを第1期区域として造成工事を行っています。

今後の予定としては、萱田側の用地買収と基盤整備が進められ、既存の樹林地の中で自由に遊べるプレイパークの森や障害の有無にかかわらず誰もが一緒に遊べるインクルーシブ遊具が配置されます。会派としても、子どもたちがのびのびと楽しく遊べる公園づくり等、市民の皆様の為の環境整備をおし進めて参ります。

## 18歳までの子ども医療費助成制度の拡充に向けて

未来ある子どもたちに元気に成長してもらいたい、それが皆様の大きな願いの一つだと思います。

令和4年3月の第一回定例会において、会派自由民主党から「18歳までの子ども医療費助成制度の拡充に関する決議について」を提出いたしました。そして、経済的負担の大きい入院について、令和4年10月診療分から18歳までが対象となり、子育て世帯への負担軽減に繋げることが出来ました。

令和5年3月の第一回定例会においては、市長から通院調剤についても令和5年中に拡充する方向で検討したいとの答弁がありました。活動範囲が広がり教育等にも費用がかかる高校生等の保護者の方々には、大切な施策が実現される見通しとなりました。子ども子育て支援の更なる充実に向け、施策の推進を図ってまいります。



# 八千代市議会 会派自由民主党



おおさわ 一治

文教経済常任委員会

三年三ヶ月続いた、コロナ禍の自由な生活、市民の皆様方にとつては、さぞかし安心・安全を脅かされた事と思います。

その伝染性コロナウイルスも今年5月8日をもって「第五類」に移行し、「有事」から「平事」と生活も戻りつつあります。私共の議員活動も多少の制約は残りますが、自由な行動が出来る様になった事ですので、今までも増して市民福祉向上の為に頑張つて参ります。

3月の予算審査特別委員会では、子育て支援事業の財源についての問題を提起、また明るい選挙推進協議会においては、投票率向上にむけての啓発運動の強化を要望しました。引き続き、市民目線に立った行動で、市民一人一人が「幸せ感」が持てる、そして実感できる為のチェック役として、活動して参ります。今後共、ご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



会派代表  
おおつか 大塚 裕介

監査委員  
総務常任委員会

前任期では、議長として2年間、議会の舵取りを担って参りました。世の中の変化が激しい時代ですが、社会ニーズを的確に捉え、施策に反映できたのも、ひとえに、皆様のご支援あつてこそです。

4期目となる今期は、監査委員の職を預かりました。議会とは異なる視点から、財政に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理を監査し、チェック機関としての役割を果たしていく所存です。

また、会派としては、県内唯一の防災拠点となる道の駅やちよの機能拡充、市民サービスの向上に資する新庁舎建設事業の着実な推進、子育て世帯の声を反映させた子ども医療費助成制度の対象拡大など、実現すべき課題が山積しております。今後、会派の代表として、皆様一人一人の声を確実に市へ届けるとともに、これら諸課題への対応に当たって参ります。



たつみ もも恵

議会運営委員会  
都市常任委員会（副委員長）  
広報委員会（副委員長）

「政治と生活の架け橋」皆様からの厳粛な信託をいただき、八千代市議として、二期目の活動をはじめました。

前任期に引き続き、議会運営委員・広報委員を務めます。

都市常任委員では、八千代市水道事業、八千代市公共下水道事業の会計について、路線の認定等について審査いたします。三月議会においての「障がい者施設の隣接道路の舗装」に関する陳情では、非常に大事な福祉施設への隣接道路であるので、人道的観点からこの陳情を採択すべきである、の内容の発言をし、全員一致で採択されました。

今後も、長年続けている地域活動も続けながら市民の皆様のお役に立てるように、行政について学びを深めながら研鑽を重ねて参ります。引き続き、皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。



いとう 伊東 幹雄

都市常任委員会

市の都市施策、住宅施策、公園施策、土木施策、上下水道事業等に関する事項を所管する都市常任委員会に所属し、以下の議案4件、陳情1件を審査いたしました。

- ・八千代市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ・令和4年度八千代市一般会計補正予算（第13号）
- ・令和4年度八千代市水道事業会計補正予算（第6号）
- ・令和4年度八千代市公共下水道事業会計補正予算（第3号）
- ・陳情第2号「障がい者施設の隣接道路の舗装」に関する件

審査の結果、議案は賛成者全員にて原案のとおり可決、陳情は賛成者全員にて採択となりました。今後も、高齢者にやさしいまちづくりや、電柱の地中化を進める等、新たな都市政策を推進して参りますので、よろしくお願いいたします。



あさはら 萩原 麻由美

福祉常任委員会（副委員長）

昨年12月の市議選にて初当選をさせて頂きました。現在、諸先輩方にご指導頂きながら勉強させていただきます。

3月の第一回定例会では、令和5年中に子ども医療費助成制度が18歳まで拡充する見通しとなり、物価高騰の中子育て世帯への大きな負担軽減となることと思います。また、予算審査では予算委員として出席し、小中学校の環境整備についての質問や、発行部数が減少傾向にある「広報やちよ」を電子化し購読者数増を求める意見の他、委員会開催中に発生した村上浄水場の濁り水について当該地区住民への補償を検討していただくよう要望しました。緊急事態の情報発信のあり方についても今後提案してまいります。今後も市民の皆様のために尽力して参りますので、ご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



つかもと 塚本 路明

議会運営委員会（委員長）  
総務常任委員会（副委員長）

【5期目の市議会議員活動】  
昨年末の市議会議員選挙で当選させて頂き、5期目の市議会に取り組み事となりました。本市も1期・2期の若手議員が増えた為、4期16年の経験と実績を生かしての市行政と市議会に対する責務は重大となっております。個人の議員活動も含め市議会全体のバランスを考慮する事も非常に重要だと考えます。

【本市の課題】  
我が八千代市は未だ人口も微増となっており、若い世帯が目立ち街も整理されているように見えます。しかし、周辺に迫っている少子高齢化問題に対し準備しなくてはならない課題が多数あります。まずは新市庁舎建設を遅滞なく実施し、災害時の危機管理体制を構築した上で、本市の宝である子ども施策を実施して行く事を念頭に置き取り組みます。